

事前伺い

[平成21年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

注1

鹿児島大学大学院教育学研究科教育実践総合専攻

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 鹿児島大学
平成22年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	
	(1) 設置者	1
	(2) 大学名	1
	(3) 大学の位置	1
	(4) 調査対象教育学研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
	(4) -①調査対象教育学研究科等の名称, 定員	2
	(4) -②調査対象教育学研究科等の入学者の状況	2
	(4) -③調査対象教育学研究科等の在学者の状況	2
	(4) -④調査対象教育学研究科等の退学者等の状況	3
2	授業科目の概要	
	(1) 授業科目表	4
	(2) 授業科目数	11
	(3) 未開講科目	12
	(4) 廃止科目	12
	(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法	12
	(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	12
3	既設大学等の状況	13
4	教員組織の状況	14
5	その他全般的事項	
	情報提供に関する事項	15

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 鹿児島大学

(2) 大学名

鹿児島大学

(3) 大学の位置

〒890-8580

鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番24号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 教育実践総合専攻(修士課程) 修士(教育学)	年 2	人 38	人 76	基礎となる学部名等 教育学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度			平均入学定員 超過率	備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
A 入学定員	(人) 38	(人) 38	()	人 倍	
志願者数	(7) 51	(8) 53	()		
受験者数	(7) 50	(8) 47	()		
合格者数	(7) 44	(7) 42	()		
B 入学者数	(7) 39	(7) 38	()		
入学定員超過率 B/A	(1) 1.02	(1) 1	()		

- (注) ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度			備 考
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
1年次	[6] 39	[6] 38	[]	
2年次	[-] -	[5] 38	[]	
計	[6] 39	[11] 76	[]	

- (注) ・ [] 内には, 留学者の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成21年度	計 [1] 1	計 [6] 39	[16.7%] 2.6 %
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 39人	
	(主な退学理由) 除籍 (平成21年9月30日)		
平成22年度	計 [0] 0	計 [12] 77	[0 %] 0 %
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 39人	
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 38人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		
平成24年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 人	平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	平成23年度 人	
	うち平成24年度入学者 人	平成24年度 人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<教育学研究科 教育実践総合専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	教職特論	1	2			1 3	3 4	0 4				専任教員の配置を見直したため(19)
	教育マネジメント特論	1	2			3 3	4 0	1				准教授が平成21年3月31日付で辞職したため(21) 専任教員の配置を見直したため(19)
	教育実践開発特論	1	2			4 4	4 0					准教授が平成21年3月31日付で辞職したため(21) 教授が平成22年3月31日付で辞職したため(22)
学校臨床系学修コース	教育課程開発特論	1	2			0 4						教授が平成22年3月31日付で辞職したため(22)
	教育カウンセリング特論	1	2			1 0	1					
	授業研究の理論と実際	1		2		4 4						教授が平成22年3月31日付で辞職したため(22)
	教育法規の理解と応用	1		2		1 0						准教授が平成21年3月31日付で辞職したため(21)
	学校危機管理論	1		2			4	1				在職する教員を新規に大学員担当教員にしたため、教員を追加(22)
	学校経営の基礎と応用	1		2			4	1				准教授が平成21年3月31日付で辞職したため(21)
	学校カウンセリングの理論と実際	1		2			1					在職する教員を新規に大学員担当教員にしたため、教員を追加(22)
	学校カウンセリングの方法と実践	1-2		2		1 1						
	心理アセスメントの理論と実際	1		2		1 1						
	心理アセスメントの方法と実践	1-2		2			1					
	こころの健康マネジメントの理論と実践	1-2		2		1 5	4 1					准教授が平成21年10月1日付で教授昇任したため(22)
	児童生徒理解の理論と実際	1		2			1					
	児童生徒理解の方法と支援	1-2		2		1 5						
	キャリア発達の理論と支援	1-2		2		1 5						
	発達障害サポートシステム開発研究	1-2		2			1					
発達障害の心理臨床と教育支援	1-2		2			1						
発達障害の医療と支援	1-2		2			1						
課題研究Ⅰ	1	2			5 5	2 1	1				教授の辞職、准教授の教授昇任、講師が新たに大学院担当になった等のため(22)	
課題研究Ⅱ	2	2			5 5	2 1	1				教授の辞職、准教授の教授昇任、講師が新たに大学院担当になった等のため(22)	
人間発達基礎論	1	2			3 1	1 2						
人間発達支援論	1	2			1 1	2 1						
発達と教育の思想史Ⅰ	1		2		1 1							
発達と教育の思想史Ⅱ	1		2			1						
発達と教育の思想史Ⅲ	1-2		2		1 1						教育内容を充実するため、授業科目を追加(22)	
学校教育改革の比較史	1-2		2		1 1						教育内容を充実するため、授業科目を追加(22)	

言語・社会学修コース

社会科教育学特論 I	1-2	2		1			教育内容を充実するために新設した下記授業科目との連続性を表記するため、授業科目名を変更(22)
社会科教育学特論 II	1-2	2			1		教育内容を充実するため、授業科目を追加(22)
社会科教育学特論演習 I	1-2	2		1			
				0			
社会科教育学特論演習 II	1-2	2		4	1		専任教員の配置を見直したため(22)
日本史特論 I	1-2	2		1			
日本史特論 II	1-2	2		1			
日本史特論 III	1-2	2					
日本史特論演習 I	1-2	2		1			
日本史特論演習 II	1-2	2		1			
外国史特論 I	1-2	2		1			
外国史特論 II	1-2	2		1			
外国史特論演習 I	1-2	2		1			
外国史特論演習 II	1-2	2		1			
自然地理学特論 I	1-2	2			1		
自然地理学特論 II	1-2	2			1		
自然地理学特論演習 I	1-2	2			1		
自然地理学特論演習 II	1-2	2			1		
				0			
政治学特論 I	1-2	2		4			教授が平成22年3月31日付けで定年退職したため(22)
				0			
政治学特論 II	1-2	2		4			教授が平成22年3月31日付けで定年退職したため(22)
				0			
政治学特論演習 I	1-2	2		4			教授が平成22年3月31日付けで定年退職したため(22)
				0			
政治学特論演習 II	1-2	2		4			教授が平成22年3月31日付けで定年退職したため(22)
国際社会特論 I	1-2	2		1			
国際社会特論 II	1-2	2		1			
国際社会特論演習 I	1-2	2		1			
国際社会特論演習 II	1-2	2		1			
				0			
倫理学特論 I	1-2	2		4			教授が平成22年3月31日付けで辞職したため(22)
				0			
倫理学特論 II	1-2	2		4			教授が平成22年3月31日付けで辞職したため(22)
				0			
倫理学特論演習 I	1-2	2		4			教授が平成22年3月31日付けで辞職したため(22)
				0			
倫理学特論演習 II	1-2	2		4			教授が平成22年3月31日付けで辞職したため(22)
法学特論 I	1-2	2			1		教育内容を充実するため、授業科目を追加(22)
法学特論 II	1-2	2			1		教育内容を充実するため、授業科目を追加(22)
法学特論演習 I	1-2	2			1		教育内容を充実するため、授業科目を追加(22)
法学特論演習 II	1-2	2			1		教育内容を充実するため、授業科目を追加(22)
外国語教育政策研究	1-2	2		1			
早期外国語教育研究	1-2	2		1			
特殊目的の英語教育	1-2	2		1			
英語文体論	1-2	2					
英語教育のための音声学	1-2	2		1			
英文法の理論	1-2	2		1			

	英語のしくみ	1-2		2			1				
	音声学・音韻論	1-2		2			1				
	英米文学特論Ⅰ	1-2		2		1					
	英米文学特論演習Ⅰ	1-2		2		1					
						0					
	英米文学背景研究	1-2		2		4					教授が平成22年3月31日付けで辞職したため(22)
						0					
	英米文学個別作品研究	1-2		2		4					教授が平成22年3月31日付けで辞職したため(22)
	英米演劇と小説の世界	1-2		2			1				
						12	6				
	課題研究Ⅰ	1	2			15	5	1			教授の辞職・定年退職、講師の准教授昇任、准教授が新たに大学院担当になった等のため(22)
						12	6				
	課題研究Ⅱ	2	2			15	5	1			教授の辞職・定年退職、講師の准教授昇任、准教授が新たに大学院担当になった等のため(22)
	科学・技術史	1		2		3					
	環境教育学特論	1		2		3		1			
						0					
	科学技術教育学特論Ⅰ	1		2		4					教授が平成22年3月31日付けで定年退職したため(22)
	科学技術教育学特論Ⅱ	1		2		2					
	科学技術教育学特論Ⅲ	1		2		1					
						0					
	数学教育学特論Ⅰ	1		2		4	1				専任教員の配置を見直したため(22)
						0					
	数学教育学特論演習Ⅰ	1-2		2		4	1				専任教員の配置を見直したため(22)
							1				
							0				准教授を平成22年4月1日付けで採用したため(22)
	数学教育学特論Ⅱ	1		2		4					准教授が平成21年3月31日付けで辞職したため(21)
							0				
	数学教育学特論演習Ⅱ	1-2		2			4				准教授が平成21年3月31日付けで辞職したため(21)
	代数学特論	1-2		2							
	代数学特論演習	1-2		2							
	幾何学特論Ⅰ	1		2		1					
	幾何学特論演習Ⅰ	1-2		2		1					
	幾何学特論Ⅱ	1		2		1					
	幾何学特論演習Ⅱ	1-2		2		1					
	解析学特論Ⅰ	1		2		1					
	解析学特論Ⅱ	1-2		2		1					
	解析学特論演習	1-2		2		1					
	応用数学特論Ⅰ	1		2		1					
	応用数学特論Ⅱ	1-2		2		1					
	応用数学特論演習	1-2		2		1					
	理科教育学特論	1		2		1					
	初等理科教育学特論	1		2		1					
	初等理科教育学特論演習	1-2		2		1					
	中等理科教育学特論	1		2		1					
	中等理科教育学特論演習	1-2		2		1					
	物理学特論Ⅰ	1-2		2		1					
	物理学特論演習Ⅰ	1-2		2		1					
	物理学特論Ⅱ	1-2		2			1				
	物理学特論演習Ⅱ	1-2		2			1				
	計算物理学特論	1-2		2		1					

コース	宇宙物理学特論	1-2		2			1				
	地球環境物理学特論	1-2		2							
	無機化学特論	1-2		2							
	無機化学特論演習	1-2		2							
	分析化学特論	1-2		2							
	有機化学特論	1-2		2			1				
	有機化学特論演習	1-2		2			1				
	動物学特論	1-2		2		1					
	動物学特論演習	1-2		2		1					
	植物学特論	1-2		2				1			教育内容を充実するため、授業科目を追加 (22)
	植物学特論演習	1-2		2				1			教育内容を充実するため、授業科目を追加 (22)
	環境生物学特論	1-2		2				1			教育内容を充実するため、授業科目を追加 (22)
	結晶学特論	1-2		2							
	結晶学特論演習	1-2		2		1					
	鉱物学特論	1-2		2		1					
	地質学特論	1-2		2							
	地質学特論演習	1-2		2							
	地球化学特論	1-2		2		1					
	技術教育学特論	1		2		1					
	技術科教育学特論演習	1		2		1					
	技術教育学特論演習	1		2		1					
	電気電子工学特論	1-2		2		1					
	電気電子工学特論演習	1-2		2		1					
	機械工学特論	1-2		2					1		
	機械工学特論演習	1-2		2					1		
金属加工学特論	1-2		2					1			
金属加工学特論演習	1-2		2					1			
木材加工学特論	1-2		2			1					
木材加工学特論演習	1-2		2			1					
栽培学特論	1-2		2								
栽培学特論演習	1-2		2								
						13	6				
課題研究 I	1	2			14	4	1				教授の定年退職、講師の新規採用等のため (22)
					13	6					
課題研究 II	2	2			14	4	1				教授の定年退職、講師の新規採用等のため (22)
	パフォーマンス表現特論	1		2		3	2				
							1				
	表現コミュニケーション特論	1		2		3	2	1			専任教員の配置を見直したため (22)
							2				
	スキル科学特論	1		2		3	3				専任教員の配置を見直したため (22)
							0				
	音楽科教育学特論	1-2		2			1	1			専任教員の配置を見直したため (22)
							0				
	音楽科教育特論演習	1-2		2			1	1			専任教員の配置を見直したため (22)
	音楽教育史特論	1-2		2							
	ピアノ特論 I	1-2		2		1					
	ピアノ特論 II	1-2		2		1					
	ピアノ特論演習 I	1-2		2		1					
	ピアノ特論演習 II	1-2		2		1					
	声楽特論 I	1-2		2		1					
	声楽特論 II	1-2		2		1					
	声楽特論演習 I	1-2		2		1					
	声楽特論演習 II	1-2		2		1					

- ・設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 21	科目 245	科目 0	科目 266	科目 21 [0]	科目 263 [18]	科目 0 [0]	科目 284 [18]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{266} = \boxed{0}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	鹿児島大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍				
法文学部						1.04		鹿児島市郡元1丁目	※法文学部編入学定員は学部全体の定員で各学科収容定員の外数	
法政策学科	4	95		380	学士(法学)	1.06	平成9年度	21-30		
経済情報学科	4	145		580	学士(経済学)	1.04	平成9年度			
人文学科	4	155	3年次 10	620	学士(文学)	1.03	昭和54年度			
教育学部						1.04		鹿児島市郡元1丁目	平成19年に養護学校教員養成課程から名称変更	
学校教育教員養成課程	4	225		900	学士(教育学)	1.04	平成9年度	20-6		
特別支援教育教員養成課程	4	15		60	学士(教育学)	1.01	昭和49年度			
生涯教育総合課程	4	35		140	学士(教育学)	1.06	平成9年度			
理学部						1.02		鹿児島市郡元1丁目		
数理情報科学科	4	40		160	学士(理学)	1.05	平成9年度	21-35		
物理科学科	4	45		180	学士(理学)	1.03	平成9年度			
生命化学科	4	50		200	学士(理学)	1.00	平成9年度			
地球環境科学科	4	50		200	学士(理学)	1.01	平成9年度			
医学部			2年次 10			1.01		鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1	※医学部編入学定員は各学科収容定員の内数	
医学科	6	105		680	学士(医学)	1.01	昭和30年度			
保健学科			3年次 10			1.00				
看護学専攻	4	80		340	学士(看護学)	1.00	平成11年度			
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士(保健学)	1.01				
作業療法学専攻	4	20	5	90	学士(保健学)	1.03				
歯学部						1.01		鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1		
歯学科	6	55		330	学士(歯学)	1.01	昭和52年度			
工学部						1.04		鹿児島市郡元1丁目	※工学部編入学定員は学部全体の定員で外数	
機械工学科	4	94		376	学士(工学)	1.03	昭和30年度	21-40		
電気電子工学科	4	78		312	学士(工学)	1.07	平成4年度			
建築学科	4	55		220	学士(工学)	1.02	昭和30年度			
環境化学プロセス工学科	4	35		70	学士(工学)	1.05	平成21年度			
海洋土木工学科	4	48		192	学士(工学)	1.02	平成4年度			
情報生体システム工学科	4	80		160	学士(工学)	1.03	平成21年度			
化学生命工学科	4	50		100	学士(工学)	1.06	平成21年度			
応用化学工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成3年度			
情報工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成元年度			
生体工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成9年度			
			3年次 20	40						平成21年より学生募集停止 平成21年より学生募集停止 平成21年より学生募集停止
農学部						1.06		鹿児島市郡元1丁目		21-24
生物生産学科	4	80		320	学士(農学)	1.04	平成2年度			
生物資源化学科	4	60		240	学士(農学)	1.05	平成2年度			
生物環境学科	4	65		260	学士(農学)	1.03	平成2年度			
獣医学科	6	30		180	学士(獣医学)	1.07	昭和24年度			
水産学部						1.02		鹿児島市下荒田4丁目50-20		
水産学科	4	130		520	学士(水産学)	1.03	昭和50年度			
水産教員養成課程	4	10		40	学士(水産学)	1.00	昭和29年度			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 (大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
 ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
 ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
 ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<大学院教育学研究科 教員実践総合専攻（修士課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
55	24	79		53	27	80		
(54)	(21)	(75)	()	[Δ2]	[3]	[1]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
 （記入例：1名減の場合：Δ1）

5 その他全般的事項

<大学院教育学研究科 教育実践総合専攻（修士課程）>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 9月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/jkoukai/johoteikyo.htm#sonotateikyo>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。